

# 大阪城

2023

7/3

(月)

14368

号

全港湾

西成分會

2247

6647-

4947

7月に入った。今年も半分終わった。

時の流れは速く止まることはない。30度を超え  
る日もふえてきて。今月なかばには梅雨も上り  
熱中症の真夏日に突入するのだろう。

今年後半に事案。案件が集中していき  
そうだ。おさまらないインフレ。物価高の流れ。  
日本国が安くたたく売られ、安く買われ、  
よくなードに4円をこえる円安の動き。

円安がふきおこす物価高もあり。植田日銀も  
動きはじめだが、ダメなまでに現実が迫られて  
いくのだろう。人間が営みそのものである経済

金融は生きもののように。国際・国内の関係に  
つき動かされて日々変化・流転、とまることは  
ない。その上にかかるとこの政治は、ミス  
テムとして、つまり、年内には、総選挙が  
やられて、新しい局面を迎えることになるのだから。

う。地球の物質的な秩序を変更しつつある  
ウクライナなどの戦争は、長期のドロ沼に入り  
二枚。周辺ヨーロッパ。E.U.の姿も変えはじめて  
いる。もちろん、地球全体も変化の渦に巻き込ま  
れている。今年後半は、マッケラカンとした自然とは別に  
社会はズシリと重たいものになっていきそうです。

# 熱暑の夏に突入。一段と仕事厳しく

現金求人への回復ないまま半年が過ぎ、一年の後半期にはいりました。世間一般ではよく「人手不足」が言われているのですが、コロナ回復期でサービス産業では顕著なようですが、建設現場ではまだまだのようではげす。それでもそろそろ上向きになってもいいとおもいます。

